

経験者選考採用職員(事務官)の紹介

課長補佐級

情報流通行政局 郵政行政部企画課
統括補佐

萩原 一博

Hagiwara Kazuhiro

(令和2年度 採用)



Q. 民間企業から総務省を志望した理由は？

A. 世の中への貢献度の高い仕事がしたいと考えたから。

元々、ICTの活用や情報通信におけるリスク等に関心があったところ、自らの仕事が生の中にもどだけ貢献しているか考える機会があり、総務省への転職を決めました。入省後、社会問題化するSNS上の誹謗中傷対策や、データセンター等の分散立地のための基金造成等の業務を担当した他、令和4年の大規模通信障害の対応にも関与しました。このように、世の中への貢献度の高い仕事に携われることは国家公務員の大きな魅力です。

Q. 現在、総務省でどんな仕事をしていますか？

所属する郵政行政部では、日本郵政グループにおける経営状況の把握や新規業務の認可・届出対応、不祥事案対応の他、郵便局における地域貢献の在り方の検討などを行っており、私は部全体の統括として、部内外の調整・とりまとめ業務等に従事しています。その他、部長・課長からの指示により独自案件の対応も行っています。

SCHEDULE

- 09:30 出勤、メールチェック
- 10:00 資料案の作成
- 12:00 昼休み
- 13:00 事業者との打合せ
- 14:00 国会対応の調整
- 16:00 課長との打合せ
- 17:00 資料案の作成



- ① 民間企業で得た知見も活かしつつ、相談しながら対応方針を決めていきます。
- ② 明るく楽しい職場です！必要なのはやる気と笑顔！

<総務省を志望する皆さんへ>

Message



政府のDX関連施策などにご提案がある方、社会課題に取り組みたい方、影響範囲の大きい仕事をしたい方、霞ヶ関の公務員だからこそできることがあると思います。

ただ、霞ヶ関で大きな仕事をするには、民間企業での仕事とは比較できないほど多くのハードルを越えなければなりません。そのため、私は、近年注目されている「GRIT(やり抜く力)」が必要な職場だと考えています。ご自身が、困難に遭ってもくじけない闘志、気概や気骨などを意味する「GRIT」の持ち主だ、という方は、是非、総務省の門を叩いていただければと存じます。